



松代病院の無床診療所 ごり押しに抗議を



センター病院建て替え
一刻も早い実現を！



第7次総合計画とマニ フェストの整合性は 滝沢 一成（無所属）



県立松代病院は県の病院改革の対象となつてゐるが、大島区を含む関係地域の住民の命と健康に大きな影響を与える。県が病院の無床診療所化に関する条例改正案を提案する際や、その手続きにおいて、県は当市と相談していない。無床診療所化がテーマだった10月7日の魚沼圏域地域医療構想調整会議は、当市にオブザーバーとしての出席要請はあつたのか。

厚生労働省の指針では、地域医療構想調整会議は地域住民や関係自治体の声を聞かなければならぬとなつてゐるが、していない。これは病院局の責任と考へるが、県に抗議したか。

A 県に申し入れや抗議はしていない。



Q 建て替えの必要性をどう認識しているか。
A 病院機能を十分に發揮できない施設となりつつあり、早期改築の検討が必要だと考える。

Q 建て替え先送りに伴つて一定の対策を講じたとしているが、効果をどう認識しているか。

A 老朽化進行は間違いないが、維持補修によつて機能は維持できるものと認識している。

Q それは病院スタッフの必死の努力の結果ではないか。廊下は寒く防寒着が必要、雨が降ると床から水が染み出して水たまりになる、汚物室の入口にはドアがないなどと聞くが、これらをどう把握しどんな対策をしているのか。

A
現場を確認して適切に対応したい。

Q 基本設計は地域医療構想によつて いるが、

この構想は医師看護師不足を小手先の配置転換でしのごうとしている。県や市はまず医師看護

師の確保と偏在解消の取組が必要。建て替えは

構想にかかわらず取りかかるべきではないか。

A 総務省・厚労省に対し、診療報酬の改定や

病院改築での配慮を要望してきた。なお、当初

の想定よりも病床稼働率が下がってきた。

Q 努力は分かるが、結果が全てだ。また、病

床稼働率の低下は診療報酬不足で平均在院日数

A 結果を出せど、うこには承
か下かでして、からでにならか

関係者と協議して
できる限り対応して
いきたい。